

熊本市における効率的な下水道管路内調査に関する共同研究について

熊本市上下水道局（上下水道事業管理者：萱野 晃、以下：熊本市）、東京都下水道サービス株式会社（代表取締役社長：岸本 良一、以下：TGS）は、下水道台帳システムを活用した「熊本市における効率的な下水道管路内調査に関する共同研究」を令和2年（2020年）10月から実施します。

1 共同研究に取り組む背景

昨今の上下水道事業では、人口減少社会の到来、節水意識の向上並びに節水機器の普及による料金収入の減少等の社会的背景に加え、上下水道施設の老朽化及び耐震化への対応等が必要となっています。

本市における下水道管きよの総延長は 2,684 km（令和元年度末現在）であり、布設後 50 年以上経過する管きよ延長は約 120 km（全体の約 4.5%）となっております。

現在、TV カメラ調査等を用いて管路の情報を的確に把握していますが、今後、老朽化した管路の延長は増加することから、調査実施箇所の抽出や優先順位の設定など、より効率的な調査を実施していくことが求められています。

2 共同研究の目的

熊本市では、持続可能かつ効果的な下水道管路の維持管理の実現に向けて、東京都が出資する東京都下水道サービス(株)と連携し、下水道管路内調査の検証を行うことを目的とします。実施にあたっては、現在両方で共通して使用している下水道台帳システムを活用することで、劣化予測に基づいた効率的かつ効果的な調査の実現が見込まれます。

3 共同研究の概要

TGS は、東京都下水道局の管路施設の維持管理情報や改築・更新のノウハウが蓄積された「下水道総合情報管理システム」を所有し、本研究では、その機能の一つである「劣化（損傷）予測機能」を用いて、以下の検証等を行います。

- (1) 劣化（損傷）予測システムによる本市下水道管渠への適合性の検証
- (2) 管路内調査の調査優先箇所の抽出及び検証
- (3) 机上スクリーニングの導入効果の確認
- (4) 施設情報データの精度向上に関する検討

4 実施期間

令和2年（2020年）10月20日～令和4年（2022年）3月31日

5 実施場所

熊本市全域

6 各構成企業の主な取組

熊本市：下水道台帳のデータ及び管路内調査結果の情報提供
TGS：「劣化(損傷)予測」の適合性の検証等

【本件に関する問合せ先】

熊本市上下水道局 計画整備部 計画調整課 技術監理室

096-381-3040

東京都下水道サービス株式会社 技術部 企画調整課

寺迫 直通 03-3241-0836

中嶋 直通 03-3241-1956